

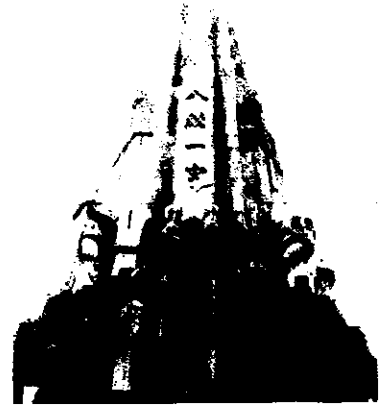
第21回 ウォッチング「八紘一字」の塔（平和の塔）

県立平和台公園の「八紘一字」の大文字の塔は、
はたして「平和の塔」なのか？！

日本がアジア・太平洋戦争で敗戦してから66年目の夏。「塔」が造られて71年目。

この塔は、どのような目的で建てられたのか？

塔の石はどこからどのようにして集められたのか？ 『八紘一字』の意味は？



「3月11日の地震と大津波は一瞬にして日常を奪い去っていきました。一方、私が経験した戦争は徐々に徐々に日常を奪っていきました。それもごく自然に、・・・昨日の非日常が今日の日常となり、その積み重ねの果てに訪れたのが焦土となったわが町であり、多くの親族や友人たちとの悲しい別れでした。」 (渡部 学『石の証言』NO44より)

日時 2011年8月15日(月) 午前10時～12時 ※少雨決行

場所 県立平和台公園「塔」の前の広場集合

参加費(資料代) 300円 ※小中高生は無料です

◆8枚のレリーフがある塔の内部にも入って、この塔が建てられた意味を考えてみましょう！



主催

「平和の塔」の史実を考える会

問合せ先

野崎 真公 0985-59-9171

黒木啓純 090-6635-4463

塔の内部のレリーフ

←国土事遣

天孫降臨→

